



## Enjoy! 七夕(たなばた)

### 次世代につなぐ“まき”づくり



連合自治会主催の夏のイベント『Enjoy!七夕』を7月2日(土)、16名の子も達を迎えて開催しました。

まずは、郷土料理「まき」づくり体験です。あんこを団子の生地で包み、サルトリイバラの葉で挟む作業を保護者やボランティアの皆さんと一緒にしました。地域の食生活改善推進委員さんからサルトリイバラの名前の由来や、薬草としての効果なども聞きました。



父親を蘇らせるため、不思議な冒険に出かけるファンタジー作品で、低学年の子も静かに一生懸命に見ている姿が印象的でした。

そして、今年初めての試み「ポン菓子」づくり

です。昭和生まれの人にとっては懐かし、大きな音が思い出となくなりますが、子ども達にとっては初めて見る機械の登場です。温度の上昇と共に圧力が上がり、機械のツメを外すと大きな音がして、一瞬にしてポン菓子の出来上がりです。お米の次にトウモロコシを入れてみました。お米よりさらに大きな音がして、大人もビックリ!



最後にお菓子を賞品にした簡単なゲームをして今年の七夕イベントを終えました。

帰りには、蒸し上がった「まき」

とポン菓子、ポップコーンを袋に入れて一人一人持ち帰りました。家族の皆さんと「分けこ」できたかな?

次はDVD鑑賞です。今年はいディズニー映画の「2分の1の魔法」を見ました。魔法の世界に住む兄弟が

個性あふれる小皿と一輪挿し  
公民館講座「陶芸教室」

沢谷公民館で行う定期講座「陶芸教室」、3回コースのうち2回を6月16日と30日(いずれも木曜)に、千原の藤間さんを講師に迎えて開催しました。

1回目の教室で作るのは「小皿」です。受講生は、すでに講師により練られて、小分けされている3色の粘土から好みの色のもので取って、軽く練り、棒と板を使って延ばしていきます。それを用意されていた皿などに押し当てて形を作っていきます。

形ができると、外に出して少し水分を抜いて化粧土で模様をつけました。修正のきかない作業のため、皆さん真剣に筆を走らせました。

2回目は2種類の「一輪挿し」を教わりました。ひとつは口ク口を回しながら指で粘土を球状に延ばしていきます。そして、口部分を次第にすぼめていくのですが、これが難しく講師さんの手を借りてなんとかなった方も！もう1種類は、1回目



と同じように、板状に延ばした粘土を棒に巻いて円筒状にした後、底をつけ、ねじったりへこましたりして、オリジナル作品に仕上げしていきます。いつの間にか皆さん無口になって、懸命に取り組んでいました。何歳になっても粘土遊びは楽しく、さらにゼロから何かを作り上げていく喜びは格別のものがあるなど感じました。

受講生の個性あふれる作品は、講師の窯で素焼きされ、3回目の教室で仕上げとなります。楽しみです！



「土砂災害から命を守る」  
実証実験への協力とワークショップ

梅雨入り直後の6月18日(土)、土砂災害に対する避難について考えるワークショップが交流センターで開催されました。

これは、近年、大雨による災害が全国で頻発する中において、古河電気工業(株)という会社が、「災害に強い地域コミュニティづくり」のためのシステム開発を目的とした研究事業のひとつとして開かれたものです。

今回は、自宅において毎日の雨量を計測し、スマートフォンで報告いただく沢谷地域内の15名の協力者の皆さんが集まっていたいただき、この事業の趣旨などを聞いた後、京都大学防災研究所の畑山教授の講話を聴講しました。

教授は、気象状況は地域により異なるため、災害は「他人事ではなく自分のこと」と意識するとともに、地域の自主避難体制の重要性を語られました。また、避難のための判断には、気象庁ホームページの『キキクル(危険度分布)』の情報がお役にたかました。今年中にと2回のワークショップにより地域の避難計画などを作成する予定です。



グラウンドゴルフ大会開催

連合自治会主催の「グラウンドゴルフ大会」を6月25日(土)、19名の参加で開催しました。

心配した雨も朝には上がったもののとても蒸し暑い中、8ホールを2ラウンド回り、歓声をあげたり悔しがったりしながら和気あいあいの大会でした。



## 読んでみよう！『日本国憲法』

第十一条 国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び将来の国民に与へられる。

第十二条 この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によつて、これを保持しなければならない。又、国民は、これを濫用してはならないのであつて、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ。

## ふるさと沢谷を探索しました！

### 邑智中2年生「ふるさと学習」

7月1日(金)、邑智中学校2年生が総合的な学習の時間に「ふるさと学習」として自分が生まれ育った地域を探索しました。

これは、ふるさとの魅力を体感し、それを整理してICT(情報通信技術)などを活用し発信していこうというもので、校区内5地域を5班に分かれて歩きました。

沢谷地域は、地元の5名が午前8時に集合し、まず「千原温泉」を訪ね、男女に分

かれて入浴体験。その後、西蓮寺の裏山から自分達が暮らす石原や千原を眺め、千原八幡宮参詣を経て彦田さんの牛舎へ行きました。牛舎では、最近生まれた子牛が乳を飲む姿に「かわいいー！」との声。その他、ふるさと伝承館や花ノ谷シヤク



ナゲパーク、森原古道公園などを歩きました。

昼食場所の沢谷交流センターで「ポン菓子」づくりを体験した後、最も楽しみにしていた沢谷川探索です。熊見橋下の川に降りて、まるで夏休みのように最も長い時間を過ごしました。

今後、この日の記録をま

とめて情報発信につなげる予定とのことですが、楽しみにしています。

突然の訪問にもかかわらず、親切に対応してくださった訪問先の皆さんにお礼申し上げます。



## 備品を購入しました 連合自治会

「コミュニティ助成事業(宝くじ社会貢献広報事業)」

この度、沢谷地域連合自治会では自治総合センターの「宝くじ社会貢献広報事業」の交付決定を受け、次の備品を整備しました。

これらの備品は、高齢者健康教室、土砂災害ワークショップ、七夕イベントなどで既に利用しています。

- 一、品目 折りたたみテーブル 数量 20
  - 一、品目 会議用椅子 数量 30
  - 一、品目 椅子収納台車 数量 1
  - 一、品目 65型有機テレビ 数量 1
  - 一、品目 テレビ用スタンド 数量 1
  - 一、品目 短焦点プロジェクター 数量 1
  - 一、品目 プロジェクター台 数量 1
  - 一、品目 ポン菓子機 数量 1
- これからも有効に活用させていただきます。  
※一部の写真を掲載します。



## 愛と憎

「愛」の裏は「憎」だ。「愛」は素晴らしい力をもっているけれども、うっかりしているのと裏がえしになっ  
てしまう。この愛情を、ほんものの愛情に仕上げるものは何であろうか。わたしは、それは「知恵」ではないかと思う。相手を、腹の底から、ごっそりわかつてやる「知恵」ではないかと思う。

「東井義雄 一言」

著者：東井義雄

発行者：藤尾秀昭

発行所：致知出版社

## お知らせ（公民館・交流センター・連合自治会）

## ◆『地域食堂』（おむすび）の開催について（おむすび実行委員会から）

「地域食堂」とは、子ども食堂の地域版です。次の日時に交流センターで開催されます。

日時：7月26日（火）午前11時30分から12時30分まで

参加費：子ども・若者→無料、大人→200円 メニュー：そうめん（30食）

どなたでも、ご利用できます。ただし、無くなれば終了となります。

## ◆『集まれ！沢谷っ子！夏を楽しもう！』の開催について（公民館・連合自治会から）

子ども達の夏休み期間中、次のとおり「沢谷っ子！」を開催します。

日時：7月22日（金）・26日（火）、8月9日（火） 午前10時から午後4時まで

内容：夏休み学習、遊び、食事、その他

※子ども達の様子は「沢谷公民館だより」や「フェイスブック」に載せる場合があります。

載せてほしくない場合は、お申し出ください。

## ★行事予定（7/21～8/31）

行 事	日 時	会 場
沢谷スタイル「料理教室」	7/21（木） 10：00～	調理室
集まれ 沢谷っ子！ 夏を楽しもう！	22（金）・26（火） 10：00～	全館
地域食堂「おむすび」	26（火） 11：30～	調理室
シャワークライミング（沢登り）	24（日）・30（土） 9：00～	全館・体育館
ほのぼのサロン	28（木） 9：30～	多目的室
ニコニコ健康教室	29（金） 9：30～	和室
交流センター美化活動（3区・4区）	31（日） 7：00～	広場集合
青パト隊一斉パトロール	8/1（月） 18：30～	広場集合
健診結果報告会	3（水） 13：00～	多目的室
自治会輸送バス	4（木） 8：40～	（沢谷～飯南町）
シャワークライミング（沢登り）	6（土）・7（日） 9：00～	全館・体育館
集まれ 沢谷っ子！ 夏を楽しもう！	9（火） 10：00～	全館
ニコニコ健康教室	12（金）・26（金） 9：30～	和室
ほのぼのサロン	25（木） 9：30～	多目的室

沢谷地域の人口と世帯数（6月30日時点の住民基本台帳数値） ※（ ）内は前月増減  
人口469人（-1）〔男性236人（±0）・女性233人（-1）〕 世帯212世帯（+1）

〒699-4712 美郷町九日市118番地 沢谷公民館発行 TEL：75-1920 FAX：76-0022